令和８年度　第１回　東京都教員育成協議会　会議要旨

１　日　　時　令和８年９月 14 日（月）午後３時から午後５時まで

２　会　　場　都庁第一本庁舎 33 階特別会議室 S6 及びオンライン開催

３　出 席 者　瀧沢委員（会長）、山田委員（副会長）、鈴木委員、吉川委員、吉田委員、加藤委員、吉原委員、平崎委員、清水委員、坂西委員、堀口委員、西牧委員、臼井委員、市村委員

４　議事内容

協議

（１）「新たな教育のスタイル」の確立に向けた「次世代の学びの基盤プロジェクト」中間のとりまとめについて

○　自立した学習者の育成に向け、今後の方向性やさらなる取組の推進について

・自ら学ぶことの意義を自覚し、意欲的に学び続けながら、様々な課題を主体的に解決できるたくましい人材を育成していくためにも、３つの改革を一体として進めていく必要がある。

・推進に向けては、目指す学習者の像を明確に示していくことや、学び続けて成長し続ける教員を育成していくこと、AI や東京都の教育資源の活用などデジタルとリアルを最適に組み合わせていくことなどが必要である。

・取組内容については、区市町村教育委員会や大学、地域・保護者へ積極的に発信していくことで一体的な推進が期待される。

（２）「教員のスキルアップ・プロジェクト」について

○　これらからの教育に求められる教員に必要な資質能力について

・自立した学習者の具体像と教員に必要な資質・能力を対応させて考えることが必要である。教えるのみに留まらず、学習者の視点に立って、選択したり、判断したりしていくことが求められていく。

・多様な子供たちへの対応に向け、個別学習を中心とする場面や協働的な学習を中心とする場面を使い分けていくなど、単元全体をデザインできる力が求められる。

・教員の育成に向けては、今ある研修を充実していく側面と、子供たちと向き合う姿勢をじっくりと考えるための時間を創出できるようにしていく側面の両方が必要である。

○　自立した学習者の具体的な像について

・自立した学習者という言葉が先行することがないように、具体像を明確に示していく必要がある。

・自分で選択し決定する力、実行力、デザイン力とともに課題発見力や課題解決能力も大切な力である。また、多様な人と関わる中で、協働する力も大切である。様々な経験を通して、身に付けられるようにしていく必要がある。

○　その他

・作成されたガイドブック「ティーチング・コーチング・ファシリテーション編」は、大変参考になる。ホームページ等で公開し、誰もが活用できるようにしてほしい。